

笑顔いっぱい

春号
(第47号)

発行日/平成28年5月15日

発行・編集

福島生協病院広報委員会
広島市西区福島町1丁目24番7号
TEL 082-292-3171(代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

新病院新入職第1号

福島生協病院事務長 大野 正喜

福島生協病院が新病院(2016年9月開院)となって最初に入職した新入職員を紹介します。

医師1名、看護師16名、セラピスト11名(理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名)、検査技師2名、事務2名、合計32名が入職しました。この新入職員の受け入れは新病院が西区地域で果たす次世代の役割を見据えたものとなっています。

医師は長崎大学を卒業した女性の初期臨床研修医です。引き続き当院の医師臨床研修機能を強化し、地域の医療要求や地域の医療機関や介護事業所のご要望に応える医師体制を整えて参りたいと決意しております。

新病院では昨年10月から回復期リハビリテーション病棟(42床)、地域包括ケア病棟(46床)をスタートさせ、患者のリハビリ要求に応え、在宅医療を支援しています。この機能の強化のため新卒看護師とセラピストの採用をすすめ、本年5月から回復期リハビリテーションⅡの入院基準体制となりました。

当院は西区医師会の在宅あんしんネットの後方支援病院として、在宅医療を担っておられる地域の医療機関や介護事業所からの紹介にお応えしつつ、地域医療連携室に事務職員1名を増員し、相談室とともに相談窓口機能を強化していきます。在宅あんしんネットの医療介護相談の取り組みは今年度から広島市の事業の参考とされ各区に広がられています。

今年4月の診療報酬改定では前回に続いて、いわゆる「2025年問題」に対応して「地域包括ケアシステム」の構築を促進する改定となりました。看護必要度など「7対1」入院基本料の届け出の要件が厳しくなりました。中小病院では地域包括ケア病床や回復期の病床への移行が進み始めています。こうした改定対応と並行して、一昨年の医療法改正に基づく病床機能報告制度を踏まえて広島県の地域医療構想が策定されました。今後、二次医療圏ごとに病床機能の調整が始まっていきます。

当院の一般病床77床(内科系46床、外科・整形外科・眼科・耳鼻科31床)は「7対1」病床で、西区地域の高齢患者を中心とする第二次救急の入院を担う機能を維持するため、この数年間、毎年、10名~16名の新卒看護師を受け入れてきました。

また、新病院では健診の件数が大きく増えました。検査技師2名、事務職1名を増員して、地域の健康づくりのニーズに応えていきます。

当院では子育て世代の医療要求に応えるため、昨年11月に院内小児科を生協小児科ひろしまとして独立させ、病児保育室「かんがる一む」を併設しました。以前、当院に勤務していた女性の小児科医師を受け入れました。

新たな陣容となった当院は地域の医療要求に応え、新入職員と共に当院の理念である「患者の立場」に立って、無差別平等の地域包括ケアにおける役割を担っていく決意です。



『新任医師紹介』

吉野 倫 医師(生協小児科ひろしま 科長)

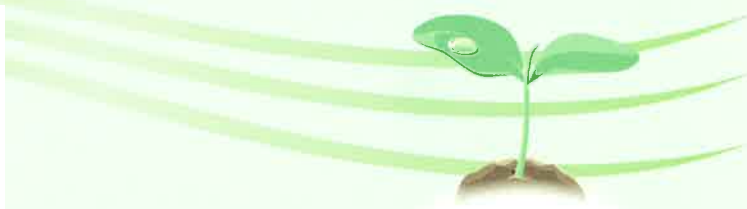
病気の治療から予防、発達の相談や心のケアなど、親御さんの気持ちにより添いながら子どもたちの成長を見守り、丁寧な診療とわかりやすい説明を心がけて、地域のかかりつけ医として皆さんに受診してもらいやすい雰囲気の小児科を作っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



生協小児科ひろしま 診療体制表

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30 (診療9:00から)	吉野	吉野	吉野	吉野	吉野	吉野 (第1・3・5週)
	西川		西川	西川	西川	
13:00~14:00	予防接種	予防接種		乳児健診	予防接種	
14:30~16:30	吉野	吉野	吉野	吉野	吉野	

お問い合わせ TEL(082)532-1260(小児科)



●基本理念●

私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本方針

- 1.インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
- 2.教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
- 3.地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。

編集後記



病院から見える緑地帯の緑がまぶしく感じられるようになりました。
新病院では、病室の窓が床近くまで大きくとってある場所もあり、そこからの景色はまるで額縁の中の絵のようです。

蒸し暑くなる日もでてきますので、脱水に注意しましょう！ (H)

